

【八幡平市】 校務DX計画

GIGAスクール構想のもとでの「校務DXチェックリストの自己点検結果」(文部科学省令和5年11月実施)の結果では、学校における校務DXの取り組みは岩手県平均226点を上回る268.7点となっているが、学校設置者向けの校務DXの取組状況が岩手県の平均267.6点を大きく下回る95点となっているため、教育委員会と学校間の校務DX化が進んでいない結果となった。このような現状を踏まえて当市では以下の3点について各学校と連携を図りながら校務DXの推進に取り組む。

1. FAX・押印及び署名の制度・慣行の見直し。

市内小中学校でFAXを多く利用している。また、押印・署名を求める書類が多くあり、校務の効率化、ペーパーレス化を阻害する要因が多い。市教育委員会としては、FAXや押印等について、制度・慣行の見直しを図る。

2. GIGA環境・クラウドツールの一層の活用

児童生徒情報(学籍・名簿情報、出席情報、成績情報、保健情報)、勤怠管理等様々な校務に関する機能を有する校務支援システムの活用を推進することにより、教職員の負担の軽減及び効率化を図る。また、学校間、教職員間及び学校と教育委員会の情報共有に校務用メールの利用や校務支援システム内のメッセージ機能の活用を推進していく。

3. 教育情報セキュリティポリシーの策定

教育情報セキュリティポリシーを令和7年度中に策定し、教職員へ教育情報セキュリティポリシーに関して周知を図るとともに、研修を実施し、教育情報セキュリティに対する知識を深める機会を提供する。今後は国の方向性を把握しながら随時改定を行っていく予定である。

4. 校務支援システムへの名簿情報の入力

校務支援システムの就学時名簿の入力に関しては教育委員会で名簿データを作成している。今後も名簿情報の不必要な手入力作業を一掃するため、教育委員会で名簿データを作成し、各小中学校へ情報提供することとしたい。